君と
もう一度

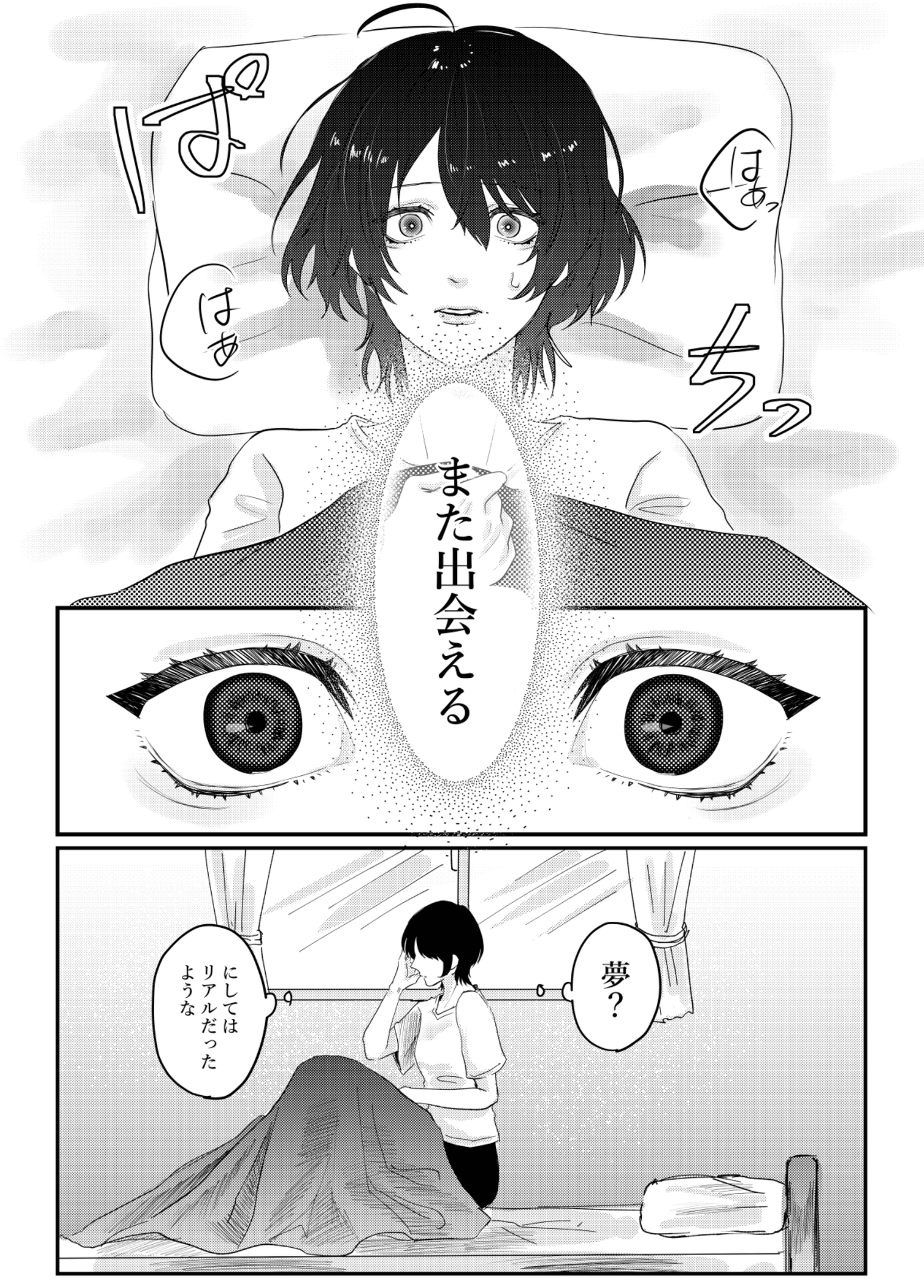
今年も綺麗な桜が咲いてるね

そんな泣きそうな
顔しないでよ

ほら

指出して

大丈夫、
私たちならきっと―


はぁ
はぁ
はぁっ
ちっ
また出会える
夢？
にしてはリアルだったような

ズキッ
痛っ
・・・
「また出会える」って、一体・・・

それじゃあ行ってきます
行ってらっしゃい

ガチャ
…おはよう
椿
おはよう
春乃
…なんかあった？いつもより元気なくない？
そんなに顔に出てた？
いやたぶん俺にしかわからない些細な変化
いやなぜわかる??
それはほら愛の力的な？

うわ
見本みたいな
何言ってんだこいつ
って顔すんじゃん

元気づけようと思ったんだよ…
んんっ

…まあ、ただの夢だしね
きっとすぐ忘れるよ

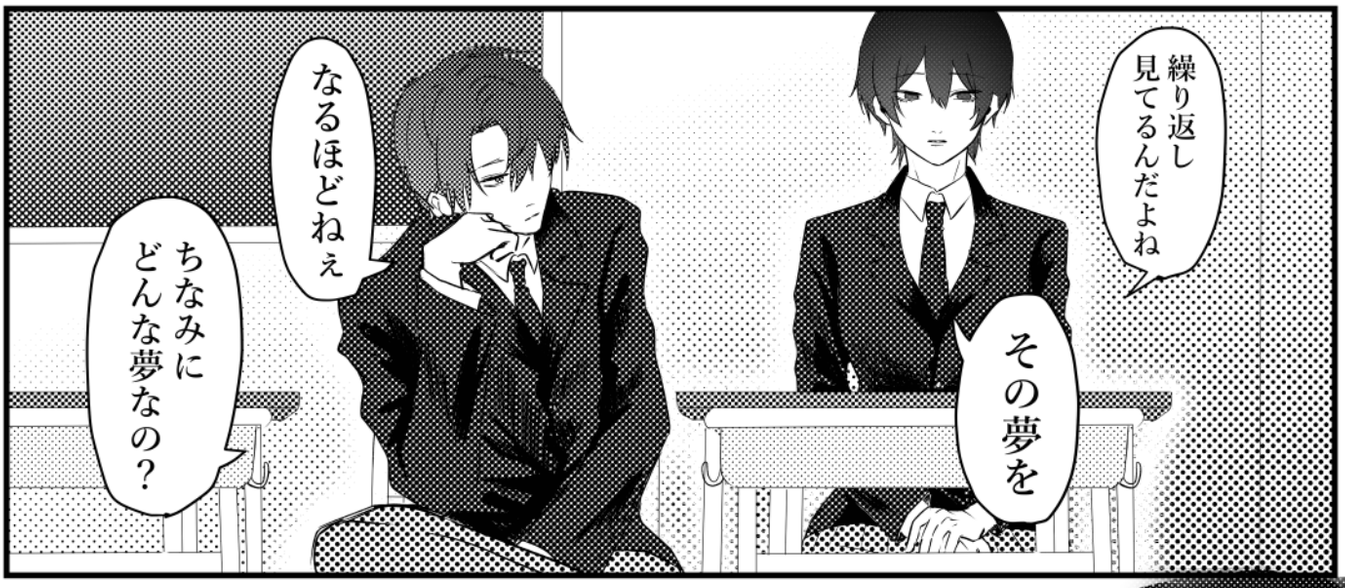
って

思ってたのに

ちょっと
本当に大丈夫？

いやさ、
前に変な夢見たって
話したじゃん

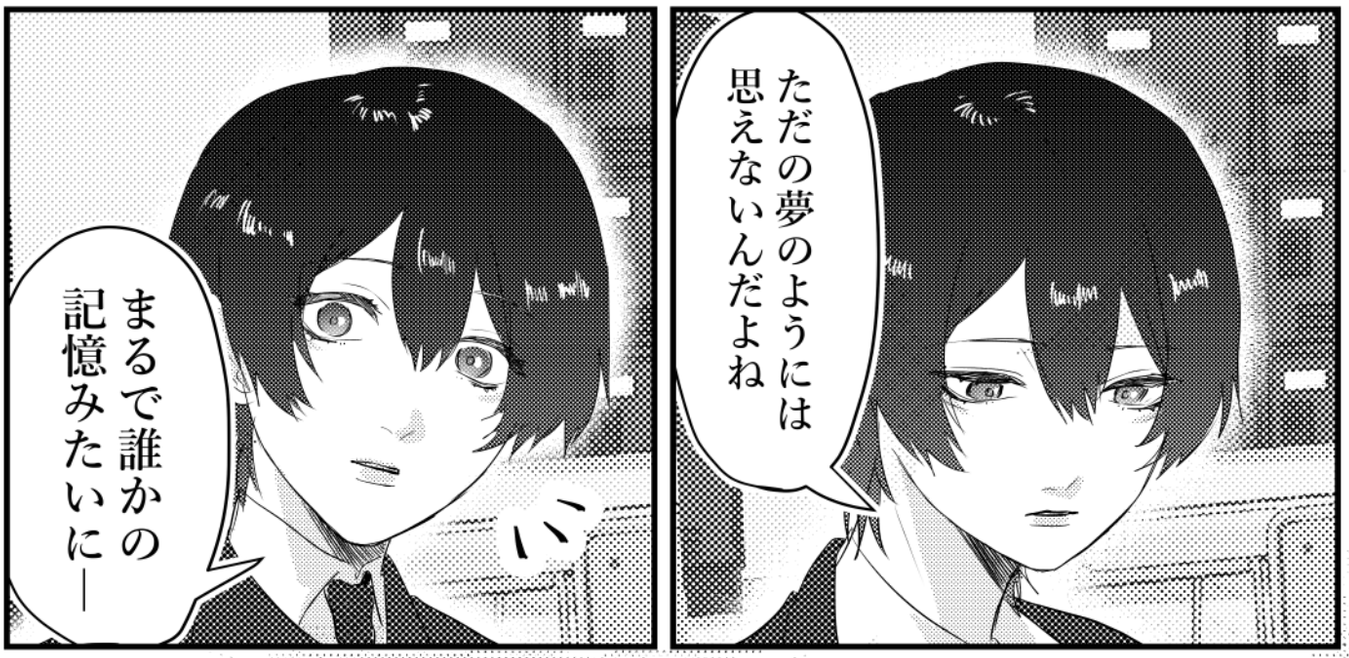
うん



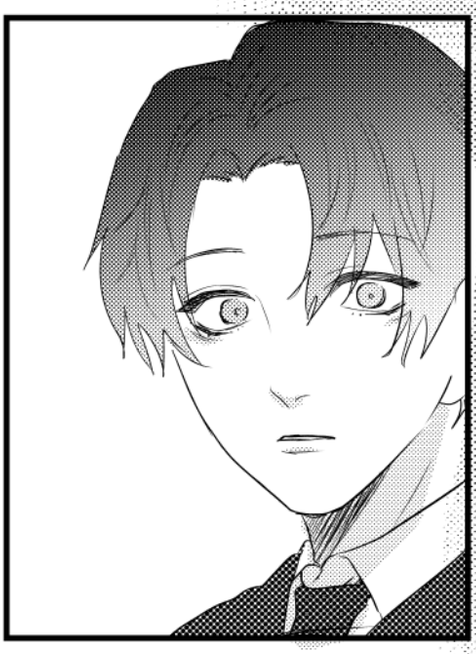
男の子と女の子がいるんだけど、女の子は病気でたぶんもう長くない

でもね、それでも笑顔を崩さなかった

「また会える」って


ただの夢のようには思えないんだよね

まるで誰かの記憶みたいに―



ああいや、何でもないよ

…椿？

でもほら、何度も同じ夢を見るってことは特別な意味がある気がするよね

本当に誰かの記憶なら、全てを思い出す必要があるとかさ

うーん

でも一体どうすれば…

！いーこと思いついた

一緒に〝記憶巡り〟しようか

…は？

…それで？

言ったでしょ、記憶を巡るって

なんで私たちは普通にお出かけしてるわけ？

記憶の中の二人がしてきたことと同じようなことをしてみれば、何か分かるかもよ

ちょっと…！

…

…まあ、たまにはいっか

はーっ

美味しかったー

…でも結局、記憶に関する手掛かりは無かったね

まあさ、今すぐにっていうのは難しいだろうから

少しずつ思い出して行けばいいよ

うん、それもそうだね

そーそ、気長に行こうよ

…ねえ、椿、今日は本当にありがとう

おかげで気持ちがちょっと軽くなった

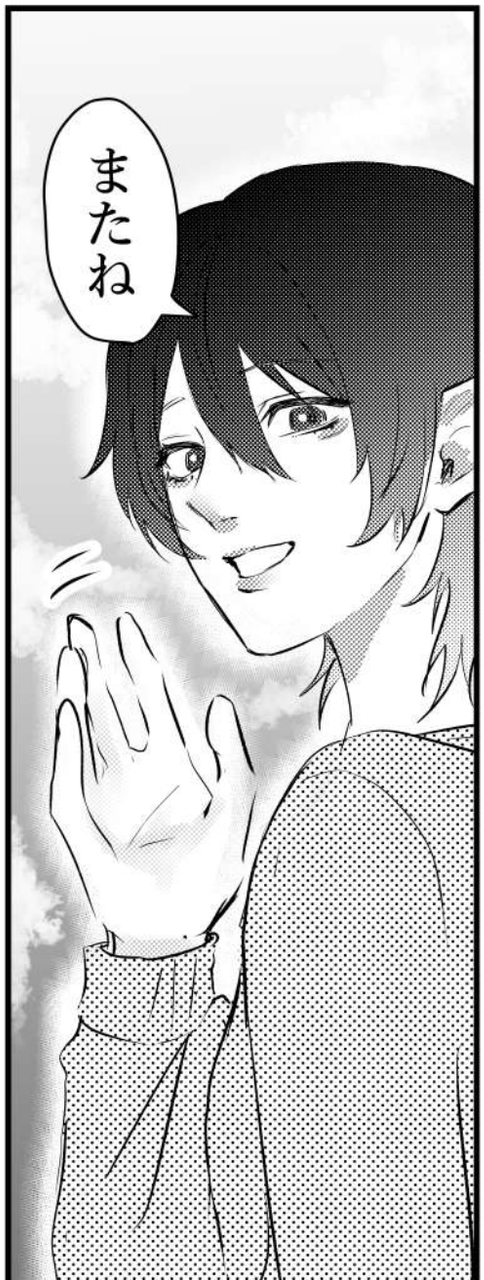
…！

ま、いいってことよ

だいぶ遅くなったね今日はもう帰ろうか

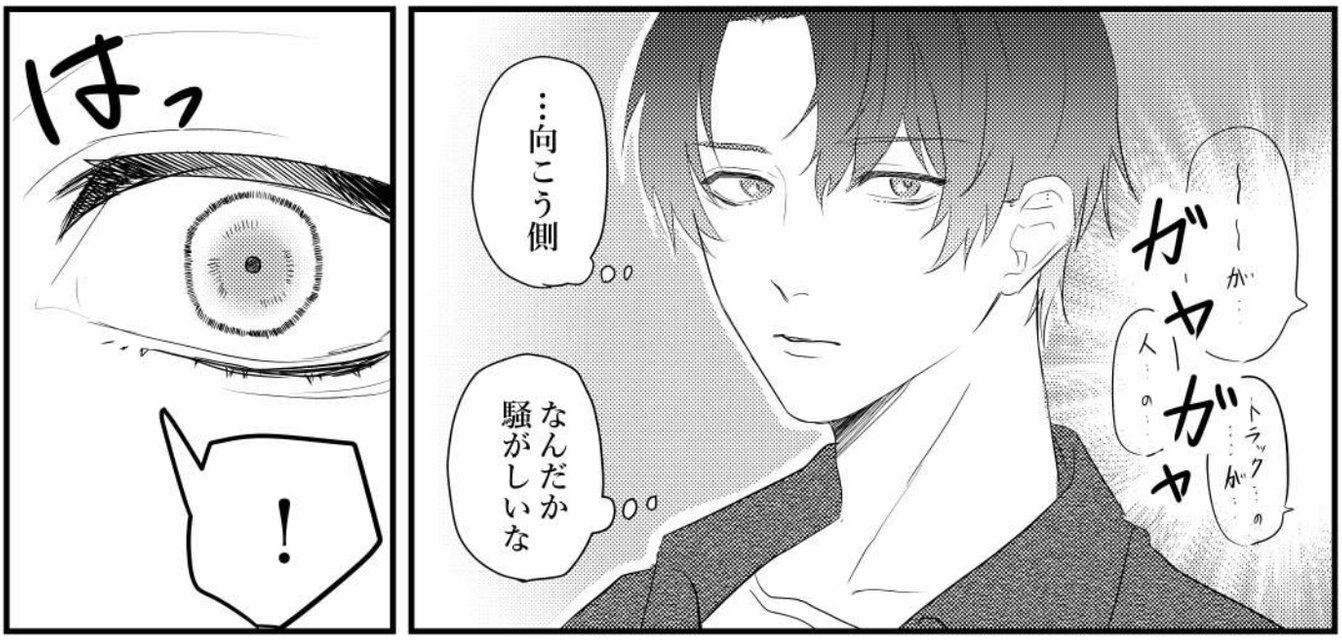
そうだね

ピカッ
じゃあ
私はここで

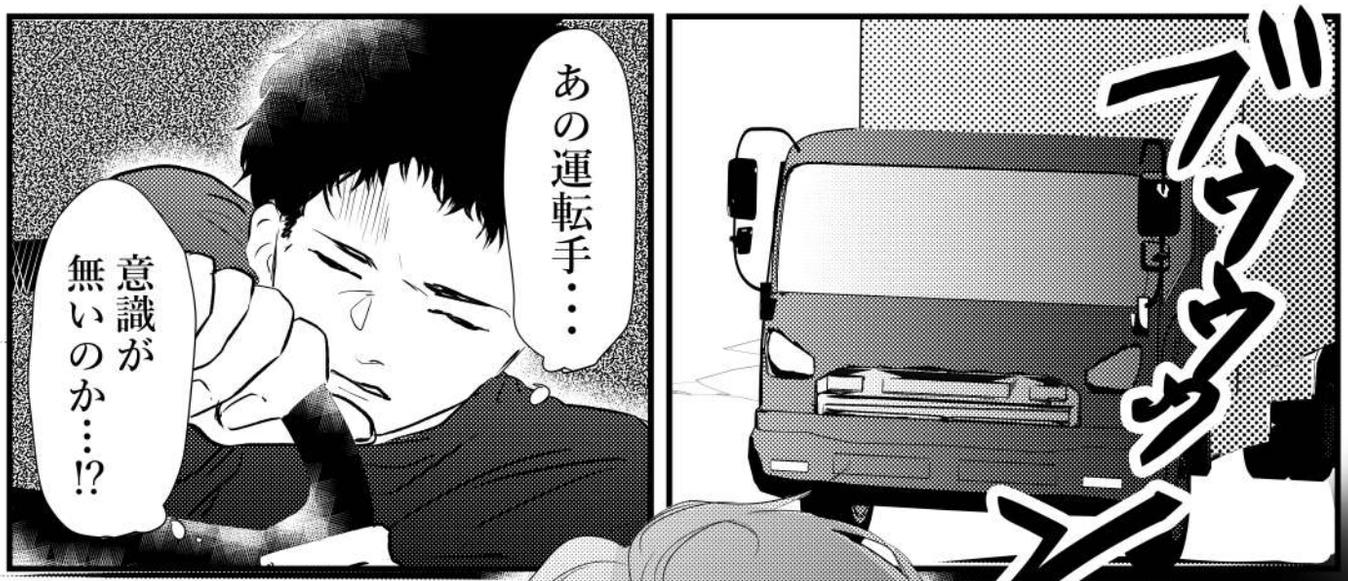

またね

うん
またね

…ん？
ががが

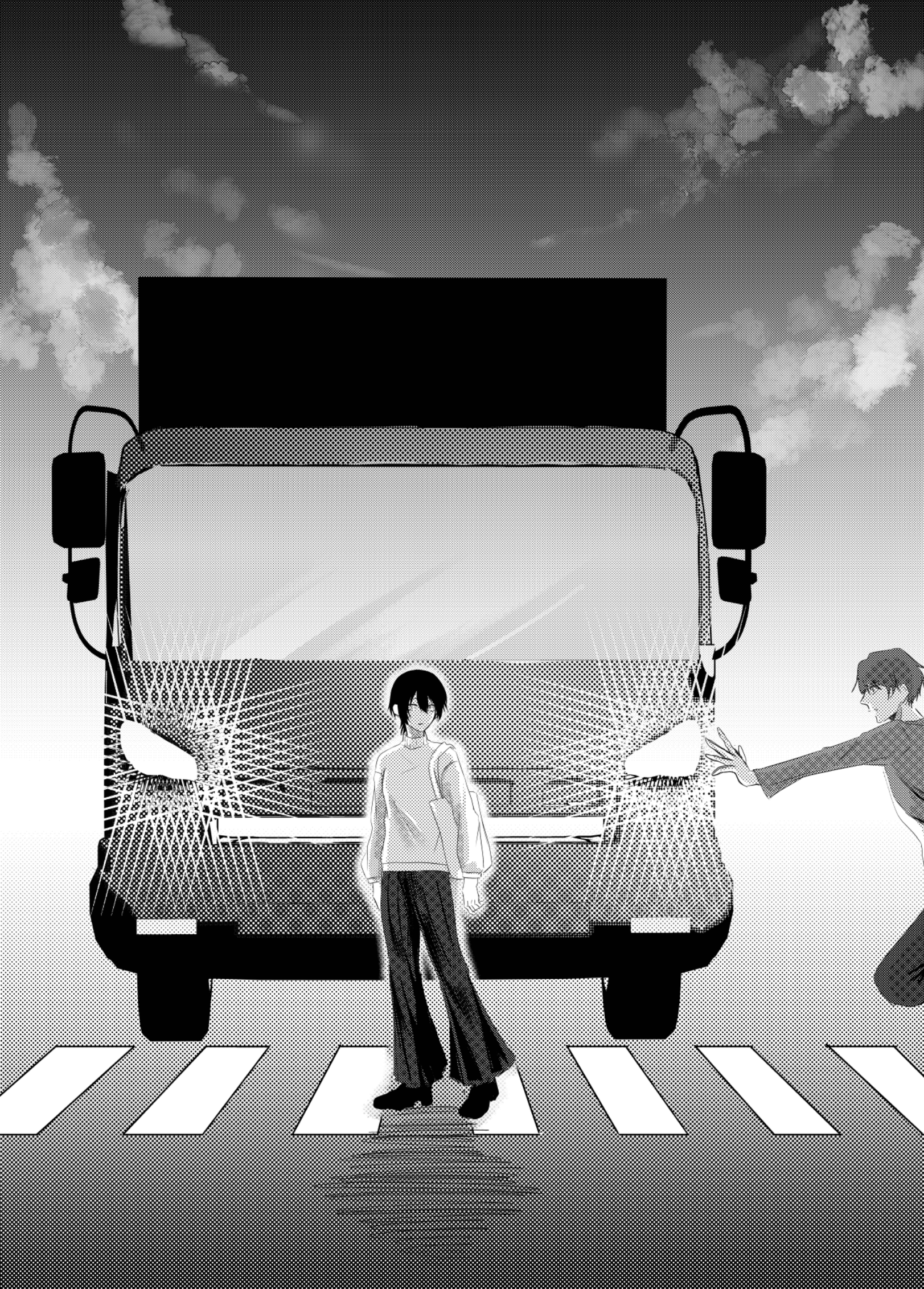

ガヤガヤ
トラックの人の…が…
…向こう側
なんだか騒がしいな

はっ
！


ブウウン
あの運転手・・・
意識が無いのか…!?

まさか・・・！
ばっ

春乃



ドゴ
え？

…なにが、起きたの？

体が、痛い…

あれ、椿…

どうして

こんな…

泣いてる…？

…あの日の約束通り

せっかく君とまた出会うことができたのに…

…つ、ばき
動いちゃだめだよ
頭を強く打ったはずだ

…ねえ
さっきの言葉の
意味って―
ズキ
うっ
春乃!?
ズキ
ズキ
頭が、痛い…
この痛みは…
グラッ

記憶が頭に
流れ込むような―

ああ、そうか
これは
誰かの記憶
なんかじゃない

…全部、私の
記憶なんだ

・・・ああ、本当にこんなことがあるなんて
君
まさか・・・
ごめんねもっと早く思い出していれば良かった
私、君に伝えたいことが、たくさん―

…？

春乃…？

だめだ…

そんな…

…もう彼女から何も奪わないでくれ

ようやく、普通の生活という代えがたい幸せを手に入れることが出来たのに

また笑い合うことが

出来たのに…！

頼むから

目を開けて…

もう一度

ポタッ

俺に…

笑いかけて
くれないか

それから月日が経ったが

春乃はまだ目を覚ましていない

…ただ何気ない日々を君と過ごしたかった

特別なものなんて何もいらない

君さえ笑っていてくれたら

それだけで良かったのに

ザァー

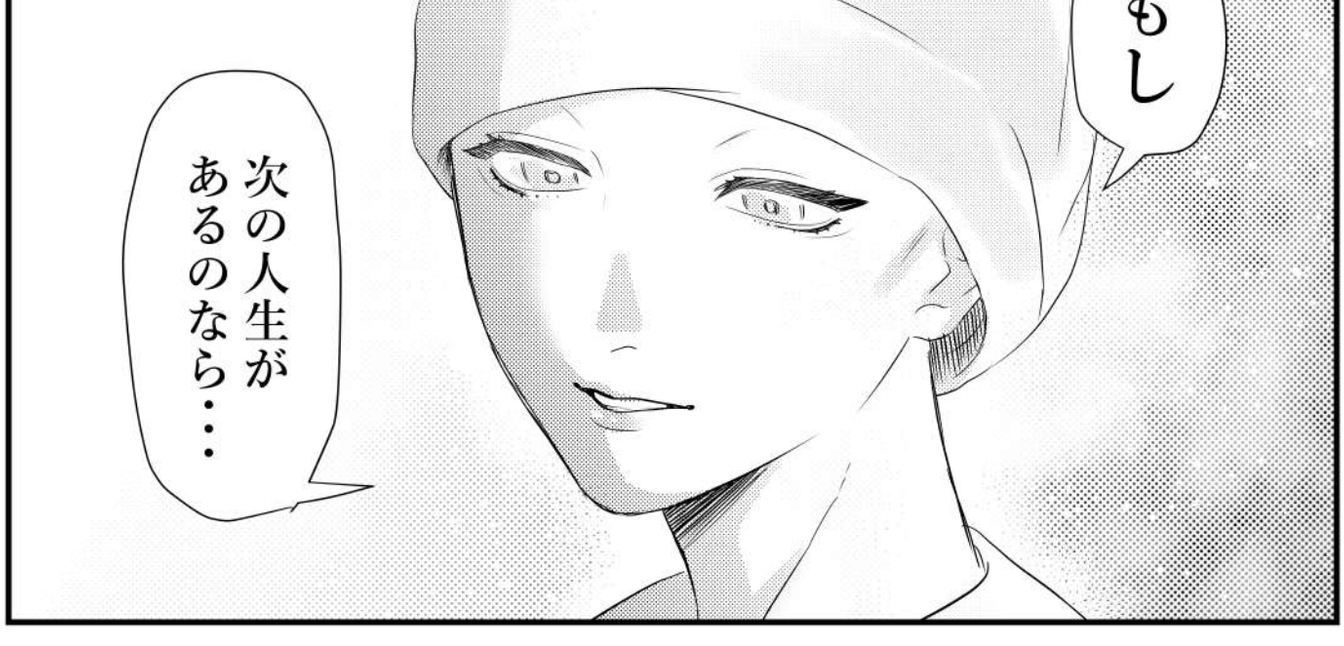
…桜？

もうそんな季節か

君が好きな桜の季節
・・・でも

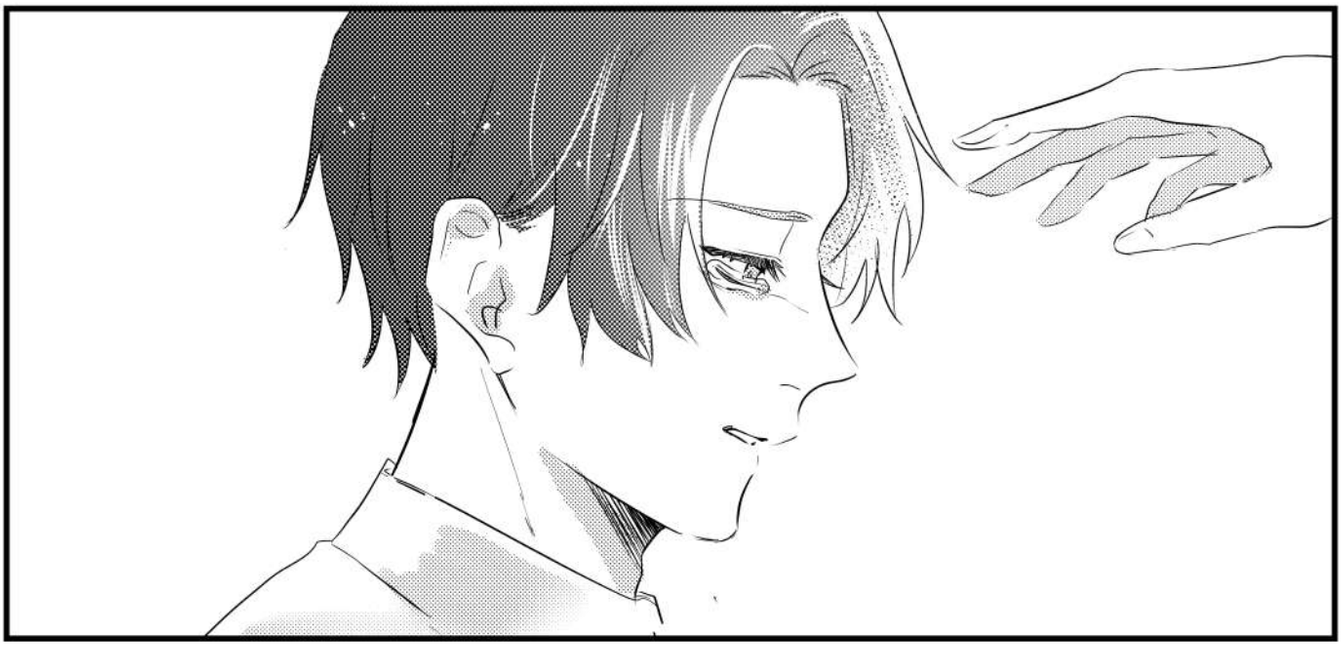
君が俺に言った言葉は

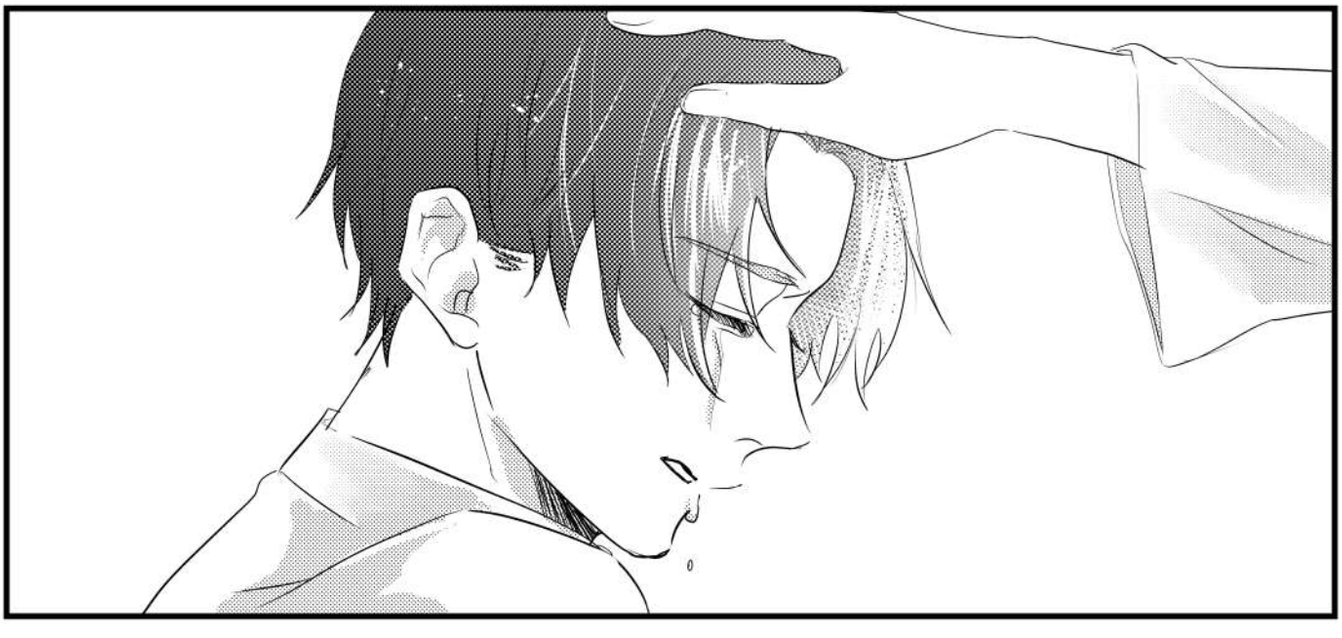
確か――



「桜の咲く時期に
目を覚ましたいな」
バッ

……あ、





…ただいま

随分と…
待たせちゃったかな

この…

ねぼすけめ

…おかえり